



令和3年度 基本評価調書②	施策名	災害時における医療体制の強化	施策コード	04052
---------------	-----	----------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	災害拠点病院におけるDMAT保有率	100	100	100	100	A
	DMAT実働訓練の実施回数	1	1	1	2	D
	<small>通常時の6割程度の発電容量と3日分の燃料を備えた自家発電設備を設置している災害拠点病院の割合</small>	100	100	100	100	A
目標(指標)の達成状況	新型コロナウイルス感染症のため、実働訓練の実施が難しい状況にあるが、各災害拠点病院参加による図上訓練を実施。				指標総合判定	B
連携状況	道内災害医療体制の充実に向け、全道に34ある災害拠点病院と日ごろより訓練や研修において連携を図っている。				連携判定	○
緊急性優先性	災害はいつ発生するかわからず、災害医療にかかる訓練や研修の優先度は高い。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	新型コロナウイルス感染症のため、実働訓練の実施が難しい状況にある中、図上訓練や研修の実施により各災害拠点病院と連携を図るとともに、広域医療搬送のためのSCU(広域医療搬送施設)の整備を図り、道内災害医療体制の充実強化に努めている。				総合判定(一次評価)	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、より実効性の高い訓練等を実施し、道内災害医療体制の充実を図る。
②		
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況(R3.3時点)	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、オンラインによる北海道DPAT研修実施を予定するとともに、DPAT事務局主催研修を受講し人材育成を図る。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	災害時の医療が確保されるよう、災害拠点病院の設備整備に対し助成するほか、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、実災害を想定したDMAT訓練を行い、災害医療体制の充実を図る。

<b>令和3年度 補助指標調書①</b>	施策名	災害時における医療体制の強化	施策コード	04052
----------------------	-----	----------------	-------	-------

**【成果指標の達成状況】**

補助指標名①	維持	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	最終目標 (R5)	指標判定
災害拠点病院における応急用医療資機材の整備率		目標値	100	100	100	100	100.0%	A
		実績値	100	100	100			
設定理由	災害発生時に災害拠点病院としての役割を機能させるため、通常時から応急用医療資機材を整備する必要があるため。							
分析（主な取組と成果）								
災害拠点病院においては、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うため、各種災害医療資機材を整備している。								

補助指標名②	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	最終目標 (R5)	指標判定
災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化率		目標値	100	100	100	100	97.0%	B
		実績値	97	97	97			
設定理由	災害発生時に災害拠点病院等としての役割を機能させるため、建物の耐震化を整備する必要があるため。							
分析（主な取組と成果）								
災害拠点病院においては、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うため、施設の耐震化、食料、飲料水の備蓄、電力の維持が必要となることから、災害拠点病院の体制強化を図っている。								

補助指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

